

令和5年度 幼保連携認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

社会福祉法人ゆりかご福祉会

ゆりかごWEC学院

各項目 まとめ

第2章第2節 乳幼児期の園児の保育	過ごしやすいように室内環境を整えることで、子ども達も落ち着いて遊ぶことができ、また個々で関わりをもつことで成長を促すことが出来た。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	友達との関わりが増えてきてトラブルになることも多いため、気を付けて様子を見ながらさりげなく仲立ちをしたり、声かけだけではなく絵本や紙芝居などを通して友達との関わり方を伝えるように心掛けた。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	今年は今までと違った活動もあり、運動面や音楽面など様々な活動を取り組めた。 室内で活動が増えた分、戸外での活動が少なかった。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	発達や家庭環境に問題を抱える子どもに関しては、十分な働きかけや、保護者対応をした。子どもの気持ちになって、保護者の立場に立って、物事を考え伝えた。
第3章 健康及び安全	今年は、ノロウイルス感染症が流行し保健所とのやり取りを重ねたが、保健所の考え方・移行をすべて理解するのが大変だった。それを、職員に理解してもらうのは難しいと思った。次年度は、新人も入職するので嘔吐処理や対応の仕方などを、企画し研修する必要があると思う。
第4章 子育ての支援	保護者の気持ちを受け止め、自己決定を尊重していくように進めてはいるが、なかなか子育ての考え方が違うため、学院の方針をお願いすることも多くあるので、その部分は改善していく必要がある。
第5章 職員の資質向上	キャリアアップ研修やその他の外部研修はオンライン研修になっているので、福祉会内やグループ内の研修についてもっと力を入れて学び合える機会を作ると良いのではないかと感じる。

項目別5段階評価平均値

評価項目	5段階評価 平均	評価基準
乳児保育	4	5⇒あてはまる 4⇒どちらかといえばあてはまる 3⇒どちらでもない 2⇒どちらかといえばあてはまらない 1⇒あてはまらない
3歳未満児保育	4.1	
3歳以上児保育	4.3	
教育保育の配慮事項	4.2	
健康・安全	4.4	
子育ての支援	4	
職員の資質向上	4.1	
全項目平均	4.2	

(園長評価)

不適切保育など保育士・保育教諭としての資質や専門性について、社会全体でも厳しく評価される。主体的なこどもの活動や教育・保育を展開する楽しさ、喜びや充実感など職員一人ひとりが改めて自分を見直す必要がある。働きやすい職場づくりを進めており、保護者と連携し子どもの育ちを支えていくことが大事である。